

遠心鑄造

遠心鑄造 えんしんちゅうぞう

通常の鑄造は重力を利用して溶けた金属を鑄型に流し込むが、遠心鑄造は鑄型を回転させながら金属を流し込むことにより、遠心力を利用して鑄型の隅々まで金属を行き渡らす鑄造法である。パイプのような鬆（す）がしやすい形状の鑄物に適している。種々の特殊鋼から非鉄合金までこの鑄造法が利用されている。

<登録年月>

1998年01月
